

春日部市立大増中学校 第2学年 数学科 シラバス

内 容

学期・月		学習の内容	学習のねらい
1 学期	4月	オリエンテーション(1)	・ 数学の授業の目標、内容、評価方法について知る。
		1 式の計算 (15) ①式の計算 ②文字式の利用	・ 事象の中に数量の関係を見出し、それについて文字を用いて式に表現し、活用する能力を伸ばす。 ・ 文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
	5月		
	6月	2 連立方程式 (14) ①連立方程式とその解き方 ②連立方程式の利用	・ 二元一次方程式を解くことができるようにする。 ・ 二元一次方程式を用いて具体的な問題解決ができるようにする。
	7月	3 一次関数 (20) ①一次関数 ②一次関数と方程式 ③一次関数の利用	・ 具体的な事象の中から2つの数量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解する。 ・ 関数関係を見出し、考察することができるようにする。
2 学期	9月		
	10月	4 平行と合同 (16) ①説明のしくみ ②平行線と角 ③合同な図形	・ 観察、操作、実験を通して、基本的な平面図形の性質を見出し、平行線の性質を基にして、それらを確かめることができるようにする。
	11月		
	12月	5 三角形と四角形 (20) ①三角形 ②平行四辺形	・ 平面図形の性質を、三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察できるようにする。
3 学期	1月		
	2月	6 確率 (10) ①確率	・ 具体的な事象についての観察や実験を通して、確率を理解することができるようにする。
	3月	7 データの比較 (5) ①四分位範囲と箱ひげ図	・ 四分位範囲と箱ひげ図について必要性和意味を理解し、データの分布と傾向を読み取ることができるようにする。
		1年間のまとめ (4)	

評価

<評価の観点>

① 知識・技能

- ・文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

② 思考・判断・表現

- ・文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。

③ 数学へ主体的に学習に取り組む態度

- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。

【評価の方法】

- ・毎時間の授業への取組、定期テストの結果、ワークや授業ノート等の内容及びその提出状況、自己評価カードによる振り返り等を基にして、総合的に評価する。

教材・テスト・学習の方法

<使用教材・必要な道具等>

- ・教科書、ノート、定規、コンパス、三角定規
- ・自作プリント…基礎基本の定着を図るためや個に応じた学習のためのプリント。
- ・ワーク…基礎基本を身につけ、応用力を高めるための問題集。

<テスト提出物>

学期	テスト予定		提出物
1 学期	中間テスト…「資料の整理」「式の計算」 期末テスト…「連立方程式」	・その時の進捗状況や学習理解度によって、範囲が変更する場合も考えられます。 ・1・2年の復習問題も加えます。	テストごとにワーク等を提出する。
2 学期	中間テスト…「一次関数」 期末テスト…「平行線と合同」「三角形と四角形」		
3 学期	期末テスト…「三角形と四角形」「確率」		

※学習進捗状況や、学習理解度によって、範囲が変更する場合も考えられます。

<学習の進め方>

